

プログラム日程

第10回 日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会

会期：2018年10月20日（土）

会場：JR九州ホール[9F]

当番世話人：下地 英明（琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座）

テーマ「NST これまで これから」

9:30~9:35(5分)	開会の辞 当番世話人：下地 英明（琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座）
9:35~10:35(60分)	特別講演 求められる医療安全管理体制 田中 芳明（久留米大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授 副院長） 司会：野上 哲史（熊本第一病院 院長）
10:35~11:25(50分)	教育セミナー1 医療の変遷とNSTにおける薬剤師のあり方 ～患者に寄り添う協働医療の実践を目指して～ 北 英士（大分県厚生連鶴見病院 薬剤科） 司会：伊東 弘樹（大分大学医学部附属病院 薬剤部 部長 副院長）
11:25~12:00(35分)	休憩（+世話人会：会議室3）
12:00~13:00(60分)	ランチョンセミナー 古くて新しい微量元素、亜鉛 一意外に多い亜鉛欠乏症一 山内 健（産業医科大学病院 小児外科 准教授） 司会：田中 芳明（久留米大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授 副院長） 共催：ノーベルファーマ株式会社
13:00~13:10(10分)	総会 当番世話人：下地 英明（琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座）
13:10~14:00(50分)	一般演題（10分×5題）（口演6分、質疑4分） 座長：海塚 安郎（製鉄記念八幡病院 救急・集中治療部 部長） 下地 英明（琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座） 1) 重症褥瘡と誤嚥性肺炎を伴った甲状腺中毒患者に対して、NST各チーム、リハビリが介入し、ADLが改善し自宅退院できた一症例 青柳香織、安永千秋、古山雅子、瀬戸牧子 （春回会 長崎北病院 歯科医、看護部、膠原病内科、神経内科） 2) 摂食嚥下内視鏡検査と退院経路、咬合状態に関する検討 吉田将律、吉川博政、山口留美、久保 葵、荒木翔太、河野あゆみ、福泉公仁隆 （国立病院機構 九州医療センターNST 歯科口腔外科、栄養管理室、看護部、消化器科） 3) イントラネットを利用したNSTからの情報発信「NSTクイズ」の効果について 椛 美紗子、平川千津子、仲真美恵、松田知子、牛島浩子、香月万葉、小根森智子、佐藤清治 （地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 NST） 4) 琉球大学医学部附属病院におけるNST活動の現状 小橋川広樹、橋田 律、平良智恵美、翁長小百合、山川房江、下地英明、中村克徳、西巻 正 （琉球大学医学部附属病院 NST、薬剤部、栄養管理部、琉球大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科学講座） 5) 久留米大学病院におけるNSTの取り組み 池田真由美、永松あゆ、橋詰直樹、居石哲治、川口 巧、石井信二、七種伸行、大津山樹理、中島仁美、多賀百香、八木 実、田中芳明 （久留米大学病院 栄養治療部、栄養部、小児外科、消化器内科、看護部、医療安全管理部）
14:00~14:15(15分)	休憩
14:15~15:05(50分)	教育セミナー2 NST これまで これから ～新別府病院NSTに関わり続けて今、見えてきたこと～ 田崎 亮子（国家公務員共済組合連合会 新別府病院 栄養管理室長） 司会：小橋川 広樹（琉球大学医学部附属病院 栄養管理部）
15:05~15:55(50分)	教育セミナー3 NSTの多様性と可能性 ～患者のニーズに合わせた栄養サポートのあり方～ 吉田 貞夫（ちゅうざん病院 副院長、金城大学 客員教授） 司会：石橋 生哉（公立八女総合病院 外科部長）
15:55~16:00(5分)	次期当番施設挨拶 当番世話人：石橋 生哉（公立八女総合病院外科 外科部長） 閉会の辞 当番世話人：下地 英明（琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座）

第10回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会を終えて

平成30年10月20日土曜日、爽やかな秋晴れのもと、第10回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会をJR博多駅ビル内JR九州ホールにて開催いたしました。最終的に、医師22名、薬剤師120名、栄養士176名、看護師158名、臨床検査技師12名、理学療法士12名、言語聴覚士11名、作業療法士4名、歯科医師7名、歯科衛生士1名、学生2名、その他6名の総数531名の方にご参加頂きました。

今回の学術集会は、節目の第10回大会ということで、これまでを振り返り、今後につなげて頂きたいとの思いで「NST これまで これから」をテーマに特別講演および教育講演を企画させて頂きました。特別講演では、支部会長の久留米大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授 副院長 田中芳明先生より「求められる医療安全管理体制」と題して、安全で良質なチーム医療の実践に関して久留米大学医学部附属病院での取り組みを御講演頂きました。教育セミナー1では、大分県厚生連鶴見病院 薬剤科 科長 北英士先生より、「医療の変遷とNSTにおける薬剤師のあり方 ～患者に寄り添う協働医療の実践を目指して～」と題して、薬剤師の立場からチーム医療・NSTに対するこれまでの取り組みと今後に関して、教育セミナー2では、国家公務員共済組合連合会 新別府病院 栄養管理室長 田崎亮子先生より、「NST これまで これから ～新別府病院NSTに関わり続けて今、見えてきたこと～」と題して、これまでのNST活動と今後地域包括ケアシステムが重要であることを、教育セミナー3では、ちゅうざん病院 副院長 金城大学 客員教授 吉田貞夫先生より、「NSTの多様性と可能性 ～患者のニーズに合わせた栄養サポートのあり方～」と題して、慢性期・回復期・リハビリテーションと病態に応じた栄養管理の重要性と今後の地域NST活動の重要性を御講演頂きました。NSTを振り返り、今後どのように進めてゆくべきか、非常に示唆に富んだ内容であったと思います。また、ランチオンセミナーでは、産業医科大学病院 小児外科 准教授 山内健先生に、「古くて新しい微量元素、亜鉛 ー意外に多い亜鉛欠乏症ー」と題して、亜鉛欠乏に関して細かくまた解りやすく解説頂きました。一般演題は4題の発表がなされ、それぞれの演題で活発な質疑応答や討論が行われました。今回の学術集会が、皆様の明日からのNST活動の一助となれば幸いです。

最後に、今回の講師、演者、司会、座長、参加者の皆様、学術集会の準備、運営にご尽力を頂きました田中会長、支部会事務局の皆様、またご協力頂いた各企業の皆様方に心より厚く御礼を申し上げます。次回第11回大会は、公立八

女総合病院の石橋生哉先生が担当されます。皆様のご参加をお願い致しますとともに、本学術集会が今後も益々発展いたしますよう心から祈念致しております。

第10回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会
当番世話人 琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座 下地 英明